

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	発達支援室長 田中 香織		
こども-38	実施事業	あおぞら園管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	発達支援室
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	発達に特別な支援を必要とする児童
意図	児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、自立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供するため。
効果	発達に特別な支援を必要とする児童が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため、自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 発達に特別な支援を必要とする児童に対し、保護者と情報交換しながら日々、児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達を援助した。 あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	3,695人	4,365人	4,365人	4,401人	4,401人	4,401人	
事業費等	60,337	72,763	72,763	62,484	62,484	62,484	
運営資源状況	国県支出金	0	0	0	10	10	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	49,018	58,618	58,618	55,498	55,498	
	一般財源	11,319	14,145	14,145	6,976	6,976	
	人員配置数	15.8	15.8	15.8	15.1	15.1	
事業経費運営	人件費(千円)	123,426	123,426	123,426	118,145	118,145	
	総事業費(千円)	183,763	196,189	196,189	180,629	180,629	
	市民1人当りの経費(円)	1,041	1,113	1,113	1,024	1,024	
	対象者1人当りの経費(円)	49,733	44,946	44,946	41,043	41,043	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉女子大学	
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 鎌倉市における障害児支援の充実の観点から、あおぞら園の運営については指定管理者制度の導入に向けて調整をはかっている。
	事業へ統合		
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	指定管理者制度導入に向けた施設の修繕を今までも実施しているが、給排水設備の老朽化が進んでおり、大規模工事となるため予算化が必要となる。長期的には指定管理者制度導入における予算削減は可能である。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	・県内のおおぞら園同様施設において、市が直営で運営しているのは綾瀬市のみとなっており、指定管理者制度導入により実施事業の拡充や専門性の向上など一定の成果がみられている。児童発達支援センターあおぞら園の指定管理者制度導入は発達支援室の機能の充実と一体的に実施することで、本市における障害児支援の充実をはかっている。	

<p>平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)</p>	<p>児童発達支援センターあおぞら園は、障害児支援の拠点施設として、専門性をより一層高めていくとともに、民間の児童発達支援事業所との連携や情報共有の更なる強化を図り、市全体としての障害児支援のスキルアップに寄与できるように取り組んでいく必要がある。また、障害児支援の充実をはかるため、指定管理者制度を導入し官民の役割分担を行うことで、発達支援室の充実とあおぞら園の機能拡充を一体的に進めていく必要がある。</p> <p>保育所等訪問支援事業については、対象児童の範囲を検証し、今後利用児童の増加が見込まれる場合、配置職員の増員等の検討を行う。</p> <p>施設管理の側面では、引き続き施設の老朽化への対応として、ふるさと寄付金を活用した大規模修繕の一環である屋上防水工事の他、修繕計画に基づいた園内各所の修繕を順次実施していく必要がある。</p>	
<p>課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組</p>	<p>・障害児支援施設の拠点として専門性向上を目的とした職員研修プログラムや他事業所からの研修受け入れ等を行った。</p> <p>・児童発達支援センターあおぞら園の指定管理者制度導入については、市内当事者団体や発達支援室が所管する発達支援ネットワーク関連会議、発達支援委員会等で外部委員からの意見聴取を行うとともに、保護者との意見交換を行った。</p> <p>・施設管理については、ふるさと寄付金を活用して屋上防水工事、漏水の緊急修繕等、老朽化対策をはかるとともに、エアコンや給湯器の取り換え修繕等を実施した。</p>	<p><input type="checkbox"/> 解決</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部解決</p> <p><input type="checkbox"/> 未解決</p>
<p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p>	<p>・指定管理者制度の導入に当たっては、その具体的なメリットを明確化するとともに、実際の利用者に不利益が生じないように丁寧な引継ぎを実施していく必要がある。</p> <p>・保育所等訪問支援の対象拡大は、職員体制の整備が課題である。また2019年4月より民間事業所が同事業を開始したため、役割分担を含めて連携をはかっていく必要がある。</p> <p>・施設の老朽化への対応については、引き続きふるさと寄付金を活用した修繕を実施していくが、給排水設備の修繕が必要となっているため、修繕の方法も含めた検討が必要である。</p>	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

<p>比較事項</p>	<p>公設直営の福祉型児童発達支援センター</p>								
<p>団体名</p>									
<p>他市実績</p>	<p>鎌倉市</p>	<p>綾瀬市</p>							
	<p>○</p>	<p>○</p>							

<p>当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方</p>	<p>政令市を除く県内の市町村のうち、あおぞら園と同機能の福祉型児童発達支援センターを直営で運営しているのは鎌倉市を含め2市である。</p> <p>他市において、指定管理者制度による民間事業者の運営で、事業の拡充や専門性の向上などの一定の成果が見られており、鎌倉市としても官民の役割分担を行うことで障害児支援の充実を図っていく。</p>
-----------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

<p>指標の内容</p>	<p>延べ利用人数</p>	<p>単位</p>	<p>人</p>	<p>指標の傾向</p>	<p>↗</p>	<p>備考</p>		
<p>当該指標を設定した理由</p>	<p>年次</p>	<p>H26(2014)</p>	<p>H27(2015)</p>	<p>H28(2016)</p>	<p>H29(2017)</p>	<p>H30(2018)</p>	<p>R01(2019)</p>	<p>・開園日数 H30年度229日 H29年度226日 H28年度224日 H27年度223日 H26年度230</p>
<p>児童発達支援センターあおぞら園の利用ニーズを把握する指標</p>	<p>目標値</p>	<p>6,270</p>	<p>6,210</p>	<p>6,153</p>	<p>5,661</p>	<p>5,108</p>	<p>5,424</p>	
	<p>実績値</p>	<p>6,272</p>	<p>5,680</p>	<p>4,785</p>	<p>3,695</p>	<p>4,365</p>		
	<p>達成率</p>	<p>100.0%</p>	<p>91.5%</p>	<p>77.8%</p>	<p>65.3%</p>	<p>85.5%</p>		

<p>当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方</p>	<p>平成24年の児童福祉法の改正に伴い、民間の児童発達支援事業者が増え、支援を必要とする就学前のこどもの支援の選択肢が広がったため、あおぞら園の利用人数は減少傾向にあったが、平成30年度は増加がみられた。引き続き、保護者のニーズや民間事業所との役割分担も踏まえて、利用者数の傾向を把握していく。</p>
------------------------------	--